

「早町小学校の宿泊学習を活用した遺跡探訪・遺跡発掘体験の取組」

1 学校名

喜界町立早町小学校

2 学年・人数

5・6年生 26人

3 日時・場所

(1) 学習会等の日時・場所

2019年5月30日(木)

旧荒木小学校(荒木)及び発掘調査現場(荒木)

4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

(1) 名称・時代

カ子ンテB(かねんてびー)遺跡他

縄文時代後期～晩期

(2) 特徴

畑総事業荒木中央地区に伴う発掘調査を現在実施中であり、今年度はカ子ンテB遺跡が調査の対象となっています。本遺跡の周辺では縄文時代後期～晩期頃の縄文時代の大規模な集落跡が発見されており、今後の調査成果報告が期待される遺跡の1つです。

5 保存会や地域との連携の具体

特になし。

6 活用の取組の工夫した点

埋蔵文化財に親しむために「喜界島の遺跡 人気コンテスト」「注記体験」「遺跡の発掘体験」の3本立てを計画し、活動に取り組んだ。

「喜界島の遺跡 人気コンテスト」では荒木地区から発掘した品々の中から生徒たちに好きな出土品を選び、じっくり観察しながら絵を描いた。

「注記体験」ではパソコンを使ってそれぞれ思い思いの言葉を入力し、世界でオンリーワンの記録を作成した。

「遺跡の発掘体験」では各種道具を使いながら発掘体験を行った。土器を見つけて喜ぶ生徒や負けじと発掘に没頭する生徒もいた。

7 取組の様子（研究発表，創作劇等）



「喜界島の遺跡 人気コンテスト」



「遺跡の発掘体験」

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【生徒】

- ・ 喜界島の遺跡を探したり，調べたりしました。喜界島の遺跡はとて多く，畑の底などにも埋まっていることが分かりました。
- ・ 無文土器と石斧が気に入りました。土器でびっくりしたのはがらが無かったことです。
- ・ 貝輪が気に入りました。2500年前の縄文時代晩期で貝輪が作れたということに驚きました。私もつけてみたいと思いました。
- ・ 遺跡掘りってどこでどうやってするんだろうと思ったけど，思ったよりも簡単で驚きました。太陽が出て暑かったけど，とても楽しかったです。
- ・ 家に帰ったら私の家にも石包丁がありました。あまり遺跡を探したり，調べたりしないので体験できてよかったです。

【教職員】

発掘された遺物が丁寧に展示しており，島の文化が大切に保存されていることに感銘を受けました。子どもたちが目にするもの，手に取るものが3000年余り前の人々が使っていたものと思うと，その時代の人と同じ時空にいるような思いになりました。

発掘体験も順序が写真で示され，子どもたちもスムーズに活動することができました。暑い中での活動で，仕事の大変さにも気付くことができました。